

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(職員)

討議年月日: 令和 6年 3月 15日

公表: 令和 6年 3月31日

事業所名

ヒカリふくしまⅡ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		活動に合わせた環境設定をしている	
	2	職員の配置数は適切である	○			人員が十分な確保ができるように配慮していく
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○	対象者がいない	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		ケース会議を定期的 に実施している	会議に参加できなかった職員にも周知 していくように会議記録にまとめている
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		全職員に情報を把握 してもらう	今後は改善に取り組みできる限りの 対応に努める
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページで公表している	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		予算に見通しができれば実施していきたい
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		職員ミーティングや ケース会議 毎月事業所内研修	スタッフの全員参加は困難である
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		保護者との面談を 定期的に行い作成に 繋げている	保護者との情報を共有していき計画に繋げる
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		アセスメント様式を 作り使用している	年齢などによる様式を分けてわかりやすく していく
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		最終確認で職員全体 で行っている	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		成長に合わせて設定 している	職員会議により様々な意見を取り入れていく
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		前月に計画を立て週 ごとに設定している	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		バランスを考え 取り入れている	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		ミーティングで予定 報告をしている	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		終了時ミーティングを 行い全員が共有でき るように記録に残す	終了時ミーティングができない場合 次の日の朝ミーティングの際共有していく
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		業務記録を取り 連絡帳の写しを残す	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		会議を通して検討 している	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている		○	ガイドラインを再度 確認していく	基本に沿って事業所の特色を残し 支援に繋げる

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			日程にもよるが担当職員が行っている	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		学校の連絡情報交換を行っている	学校での支援会議や送迎時に連絡等情報交換をさせて頂いている	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○	行ったことがない		対象者が現在はいない為実施に至らない
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		支援会議や送迎時に情報交換をしている		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○	対象者がいない		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○	対象者がいない		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○				近隣の子供達との交流はあるが事業所内での交流も増やしたい
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○				定期的に会議に参加している
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		定期的実施している		定期的面談や送迎時に様子を伝え家庭での様子の情報を共有している
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○	保護者支援を行っていない		質問等がある時は事業所での対応を基に伝える
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		面談時に説明をしている		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		相談があれば対応している		送迎時や面談時等に話を受けた時その都度対応をしている
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○			支援までは出来ていないがイベント等に保護者の参加を促し保護者同士の情報交換はされている
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情窓口がある		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○				
	35	個人情報に十分注意している	○				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		イベント等近隣の方が参加される		

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○	マニュアルはあるが全体での周知は無い	全体で目につく場所に掲示をしていく
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		定期的を実施している	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		会議等で行っている	外部の研修にも積極的に参加したい
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○	契約書には記載され同意を得ている	現在まで事例がないが今後の対応は職員と検討していきたい
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		保護者からの情報を基にしている	食事、おやつ等配食には注意をしている
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		○	様式を検討中	対応等は記録にしてあるが改善が必要